

第10回 仏教(2)

- | | | |
|------|--|-------------|
| 1 A | 深い瞑想と修行によって、この世の真理(法)を悟った覚者の教えと覚者となるための修行を説く宗教を何というか。 | 仏教 |
| 2 A | 快樂の生活を捨て、厳しい修行も捨て、深い瞑想によって真理を悟り覚者となった人物を何というか。 | 仏陀(ブッダ) |
| 3 A | 深い瞑想によって悟りを開いた元サカ族の王子の本名を何というか。 | ゴータマ＝シッダールタ |
| 4 B | ゴータマが出家する動機となった物語で、三つの城門の外で死者・病人・老人に出会ったあと、最後に修行生活にはいったというエピソードを何というか。 | 四門出遊 |
| 5 A | 世俗の生活を断って修行生活にはいることを何というか。 | 出家 |
| 6 A | 心身に苦しみをあたえることで解脱をはかろうとする修行の方法を何というか。 | 苦行 |
| 7 B | 悟りを開いた仏陀が、修行仲間にはじめて行った説法を何というか。 | 初転法輪 |
| 8 A | 仏教における真理・法則・教えを意味することばを何というか。 | ダルマ(法) |
| 9 A | この世のいっさいはそれ自体としては存在せず、相互に依存しあいつつ変化のうちに存在しているという仏教の教えを何というか。 | 縁起説 |
| 10 B | あらゆる存在を構成する、色(物質)・受(感受作用)・想(表象作用)・行(形成作用)・識(認識作用)の五つの要素を仏教では何というか。 | 五蘊 |
| 11 A | この世の根本的なあり方に対する無知のことを仏教では何というか。 | 無明 |
| 12 B | 仏陀が悟った四つの命題のことで、仏教独自の考え方をしめす特徴を何というか。 | 四法印 |
| 13 A | この世のすべては苦しみであるということを仏教では何というか。 | 一切皆苦 |
| 14 A | この世のすべては変化して止むことはないということを仏教では何というか。 | 諸行無常 |
| 15 A | この世のすべてには永遠不変の実体はないということを仏教では何というか。 | 諸法無我 |
| 16 A | 苦しみから脱していたる心安らかな境地のことを仏教では何というか。 | 涅槃寂静 |
| 17 A | 仏陀の悟りにいたる道筋を、四つの過程にまとめたものを何というか。 | 四諦 |
| 18 A | この世のいっさいは苦しみであり、それには原因があり、その原因を滅ぼせば涅槃にいたるが、それには方法があるという仏陀が説いた四つの真理の説法過程をそれぞれこの順で示したものはどれか。 | 苦諦・集諦・滅諦・道諦 |
| 19 A | 人間として避けることのできない根本的な四つの苦しみを仏教では四苦というが、この四つの苦しみとはそれぞれ何か。 | 生・老・病・死 |
| 20 B | 四苦にさらに四つの苦を加えて仏教では八苦というが、そのうち愛する者との別れの苦しみを何というか。 | 愛別離苦 |
| 21 B | 仏教の八苦のうち、憎み嫌う者と出会う苦しみを何というか。 | 怨憎会苦 |
| 22 B | 仏教の八苦のうち、欲しいものが手にはいらない苦しみを何というか。 | 求不得苦 |
| 23 C | 仏教の八苦のうち、人間存在の構成要素によって生じる苦しみを何というか。 | 五蘊盛苦 |
| 24 A | 渴愛ともいわれ、物事への執着によって心が乱れ、苦しみを生み出していく原因となるものを仏教では何というか。 | 煩惱 |

25 B	自分自身や所有物にこだわる煩悩のあり方を仏教では何というか。	我執(執着)
26 C	善の可能性を妨害する三つの煩悩を仏教では何というか。	三毒
27 C	仏教でいう三つの煩悩のうち、怒りは瞋・愚かさは癡であるが、無理な望みは何というか。	貪
28 A	煩悩の炎が消え去ることで、心安らかな境地を意味することばを仏教では何というか。	涅槃(ニルヴァーナ)
29 A	極端な快樂や苦行を避けた正しい道を仏教では何というか。	中道
30 A	涅槃にいたるために行わなければならない、根底に中道をすえた正しい修行方法を仏教では何というか。	八正道
31 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しい認識」のことを何というか。	正見
32 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しい思惟」のことを何というか。	正思
33 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しいことば」のことを何というか。	正語
34 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しい行為」のことを何というか。	正業
35 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しい生活」のことを何というか。	正命
36 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しい努力」のことを何というか。	正精進
37 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しい想念」のことを何というか。	正念
38 A	仏教の八つの正しい修行方法のうち、「正しい瞑想」のことを何というか。	正定
39 B	涅槃にいたるために在家の人びとが守らなければならない仏教の五つの戒律を何というか。	五戒
40 C	仏教での五つの戒律とは、不偷盜戒・不邪淫戒・不飲酒戒のほかにあと二つ何があるか。	不殺生戒・不妄語戒
41 A	生きとし生けるものから苦をのぞき、楽しみをあたえることを仏教では何というか。	慈悲
42 B	苦しみ悩んでいるすべての生きとし生けるもののことを、仏教では何というか。	一切衆生
43 B	仏陀入滅後 100年ころまでの仏教を何というか。	原始仏教
44 B	仏陀のことばを集録した最古の仏教の聖典を何というか。	『スッタニパータ』
45 A	仏教の真理を短く鋭い詩句によって表現した、パーリ語の經典を何というか。	『ダンマパダ(法句經)』
1 A	仏陀の没後 100年ごろ、教団(サンガ)は進歩派と保守派に分裂し、その後、前1世紀ころまでに18の部派に分裂していったが、この時代の仏教を何というか。	部派仏教
2 A	仏陀のことばと戒律を厳しく遵守し、のちの小乗仏教につながる分裂期の教団保守派を何というか。	上座部
3 A	自己の悟りを目的とする、主に東南アジア地域に広まった仏教を何というか。	小乗仏教(南伝仏教)
4 B	仏陀にはいたりえないが、修行者がいたりうる最高の位置にまで達した、小乗仏教が理想とする人間像を何というか。	阿羅漢

5 A	仏陀の語ったことばよりもその精神を活かそうとする, のちの大乘仏教につながる分裂期の教団進歩派を何というか。	大衆部
6 A	自己の悟りとともに衆生の救済も重視する, おもに中国・朝鮮半島・日本に広まった仏教を何というか。	大乘仏教(北伝仏教)
7 A	悟りの可能性をもちながら衆生の救済をめざして慈悲・利他行を实践する, 大乘仏教が理想とする人間像を何というか。	菩薩
8 B	誰のなかにもあるとされる, 仏陀となる可能性のことを何というか。	仏性
9 B	生きとし生けるものはすべて仏となる可能性をもっていることを意味することばを何というか。	一切衆生悉有仏性
10 A	『中論』によって大乘仏教の理論を大成した大乘仏教最大の思想家は誰か。	竜樹(ナーガールジュナ)
11 A	すべての存在は実体をもたないとする, 無常・無我の思想を発展させた大乘仏教の根本的立場をしめすことばを何というか。	空
12 C	すべての存在は固定的・実体的な本性をもたないという, 竜樹の理論の基本となることばを何というか。	無自性
13 C	物質的なものには実体はないが, 実体がないといっても物質的なものを離れては何物も存在しないということをしめす仏教教典のことばを何というか。	「色即是空・空即是色」
14 A	大乘仏教の根本思想の空に関する哲理を記した, 大乘仏教最大の経典を何というか。	『般若経』
15 C	煩惱即菩提などの空の理論を, ヴィマラキールティを主人公に描いた大乘仏典を何というか。	『維摩経』
16 C	悟りを開いて超越的世界にはいった仏や, 衆生を救済するために無限の変化を繰り返す仏に対して, 大宇宙の真理を体現した仏を何というか。	法身仏
17 C	大乘仏教の修行者が実践すべき, 布施・持戒・忍辱・精進・禪定・知恵を何というか。	六波羅蜜
18 B	この世のいっさいの事物は主観の認識を離れては存在しないとする大乘仏教の思想を何というか。	唯識論
19 C	大乘の理論を発展させて, 唯識の理論を確立した人物は誰か。	無着(アサンガ)
20 A	実兄の指導を受けて唯識思想を発展させるとともに, 仏性に関する理論も展開した人物は誰か。	世親(ヴェスパンドゥ)
21 C	仏・法・僧の三宝以上の力をもつとされるラマによってのみ仏教は伝えられるという, ラマ教ともいわれる仏教を何というか。	チベット仏教